

CASBEE® 名古屋

評価結果

■使用評価マニュアル: CASBEE 建築(新築)2014年版、名古屋市建築環境配慮制度運用マニュアル2014 | 使用評価ソフト: CASBEE_Nagoya_2014(v.1.22)

| 1-1 建物概要 | | 1-2 外観 | |
|----------|----------------------|--------|------------|
| 建物名称 | アデグランツ藤が丘 | 階数 | 地上5F |
| 建設地 | 名古屋市名東区宝が丘226番 | 構造 | RC造 |
| 用途地域 | 第1種中高層住居専用地域、準防火 | 平均居住人員 | 117 人 |
| 気候区分 | 6地域 | 年間使用時間 | 8,760 時間/年 |
| 建物用途 | 集合住宅 | 評価の段階 | 基本設計段階評価 |
| 竣工年 | 2016年8月 予定 | 評価の実施日 | 2015年9月25日 |
| 敷地面積 | 2,249 m ² | 作成者 | |
| 建築面積 | 1,007 m ² | 確認日 | 2015年9月25日 |
| 延床面積 | 3,617 m ² | 確認者 | |

外観/パース等
図を貼り付けるときは
シートの保護を解除してください

2-1 建築物の環境効率(BEEランク&チャート)

= BEE0.5 ★★★★★

2-2 ライフサイクルCO₂(温暖化影響チャート)

標準計算
①参照値 100%
②建築物の取組み 97%
③上記+②以外の 97%
④上記+ 97%

2-3 大項目の評価(レーダーチャート)

2-4 中項目の評価(バーチャート)

Q 環境品質 Qのスコア = 2.3

Q1 室内環境

Q1のスコア = 2.9

Q2 サービス性能

Q2のスコア = 2.6

Q3 室外環境 (敷地内)

Q3のスコア = 1.3

LR 環境負荷低減性 LRのスコア = 2.3

LR1 エネルギー

LR1のスコア = 2.0

LR2 資源・マテリアル

LR2のスコア = 2.6

LR3 敷地外環境

LR3のスコア = 2.3

3 設計上の配慮事項

| 総合 | その他 |
|---|---|
| 注) 設計における総合的なコンセプトを簡潔に記載してください。 ・建設地の住環境を保持しつつ、居住者に快適な住まいの供給を目指す。 | 注) 上記の6つのカテゴリー以外に、建設工事における廃棄物削減・リサイクル、歴史的建造物の保存など、建物自体の環境性能としてCASBEEで評価し難い環境配慮の取組みがあれば、ここに記載してください。 |
| Q1 室内環境 注) 「Q1 室内環境」に対する配慮事項を簡潔に記載してください。 F☆☆☆☆の採用。 | Q2 サービス性能 注) 「Q2 サービス性能」に対する配慮事項を簡潔に記載してください。 ・近年の設備機器仕様が満たされるよう配慮している。 |
| Q3 室外環境 (敷地内) 注) 「Q3 室外環境 (敷地内)」に対する配慮事項を簡潔に記載してください。 ・監視カメラの設置。 | LR1 エネルギー 注) 「LR1 エネルギー」に対する配慮事項を簡潔に記載してください。 品確法における等級3相当の断熱処理を行う。 |
| LR2 資源・マテリアル 注) 「LR2 資源・マテリアル」に対する配慮事項を簡潔に記載してください。 ・節水型便器の採用。 | LR3 敷地外環境 注) 「LR3 敷地外環境」に対する配慮事項を簡潔に記載してください。 |

■CASBEE: Comprehensive Assessment System for Built Environment Efficiency (建築環境総合性能評価システム)
 ■Q: Quality (建築物の環境品質)、L: Load (建築物の環境負荷)、LR: Load Reduction (建築物の環境負荷低減性)、BEE: Built Environment Efficiency (建築物の環境効率)
 ■「ライフサイクルCO₂」とは、建築物の部材生産・建設から運用、改修、解体廃棄に至る一生涯の間の二酸化炭素排出量を、建築物の寿命年数で除した年間二酸化炭素排出量のこと
 ■評価対象のライフサイクルCO₂排出量は、Q2、LR1、LR2中の建築物の寿命、省エネルギー、省資源などの項目の評価結果から自動的に算出される